

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-202655

(43)公開日 平成8年(1996)8月9日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 15/00

識別記号

3 1 0 S 9364-5L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平7-8725

(22)出願日 平成7年(1995)1月24日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 篠田 真由美

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 黒部 彰夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

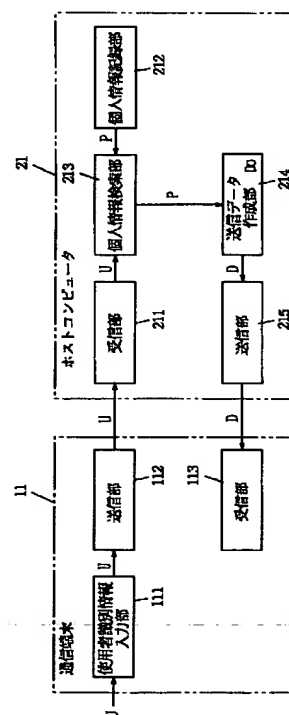
(74)代理人 弁理士 小笠原 史朗

(54)【発明の名称】 データ通信装置

(57)【要約】

【目的】 通信端末の各使用者がデータの選択を意識することなく、各使用者に適応したデータを容易に得ることができるデータ通信装置受信を提供することである。

【構成】 通信端末11の使用者識別情報入力部111は、各使用者の使用者識別情報Uを入力する。この使用者識別情報Uは、送信部112およびホストコンピュータ21の受信部211を介して個人情報検索部213に送信される。個人情報検索部213は、通信端末11から受信した使用者識別情報Uに対応する個人情報Pを個人情報記録部212から検索する。送信データ作成部214は、共有データD0を有し、個人情報検索部213から出力された個人情報Pに基づいて共有データD0を編集することにより、個人情報Pの使用者に適応した送信データDを作成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータと複数の使用者が共用可能な通信端末とを相互に通信可能に接続したデータ通信装置であって、

前記通信端末は、

各使用者の使用者識別情報を入力するための使用者識別情報入力部、および前記使用者識別情報入力部から出力された使用者識別情報を前記ホストコンピュータに送信する第1の送信部を備え、

前記ホストコンピュータは、

前記通信端末の各使用者の使用者識別情報と各使用者の個人情報とを対応させて記録している個人情報記録部、前記通信端末から受信した使用者識別情報に対応する個人情報を前記個人情報記録部から検索する個人情報検索部、

前記共有データを有し、前記個人情報検索部から出力された個人情報に基づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成する送信データ作成部、および前記送信データ作成部によって作成された送信データを前記通信端末に送信する第2の送信部を備え、前記通信端末は、さらに前記ホストコンピュータから送信された送信データを受信する受信部を備える、データ通信装置。

【請求項2】 複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータと複数の使用者が共用可能な通信端末とを相互に通信可能に接続したデータ通信装置であって、

各使用者に与えられ、各使用者の個人情報を記録した個人情報記録媒体を含み、

前記通信端末は、

前記個人情報記録媒体から個人情報を読み取る個人情報読取部、および前記個人情報読取部が読み取った個人情報を前記ホストコンピュータに送信する第1の送信部を備え、

前記ホストコンピュータは、

各使用者に共有の共有データを有し、前記個人情報検索部から出力された個人情報に基づいて共有データを編集することにより、使用者に適応した送信データを作成する送信データ作成部、および送信データ作成部によって作成された送信データを送信する第2の送信部を備え、前記通信端末は、さらに前記ホストコンピュータから送信された送信データを受信する受信部を備える、データ通信装置。

【請求項3】 前記通信端末は、さらに使用者が入力した共有データの部分選択操作を表す操作情報を出力する操作入力部を備え、

前記第1の送信部は、さらに前記操作入力部から出力された操作情報を前記ホストコンピュータに送信し、

前記送信データ作成部は、さらに使用者の操作情報と個

人情報とに基づいて送信データを作成し、

前記ホストコンピュータは、さらに送信データ作成部によって作成された送信データを各使用者毎に区別して記録する送信データ記録部を備える、請求項1または2に記載のデータ通信装置。

【請求項4】 前記通信端末は、さらに使用者が入力した共有データの部分選択操作を表す操作情報を出力する操作入力部を備え、

前記第1の送信部は、さらに前記操作入力部から出力された操作情報を前記ホストコンピュータに送信し、

前記送信データ作成部は、さらに使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成し、

前記個人情報記録部は、

前記操作情報を過去の共有データに対する部分選択の履歴を表す個人情報として各使用者毎に記録することを特徴とする、請求項1に記載のデータ通信装置。

【請求項5】 前記送信データ作成部は、

前記共有データとして、漢字を含むテキストデータと、漢字の読みがなおび難易度とを記憶するホストコンピュータのテキスト記憶部、

前記個人情報から漢字の難易度のしきい値を決定する難易度しきい値決定部、および難易度しきい値決定部により決定されたしきい値に基づいて、テキスト記憶部に記憶されているテキストデータのしきい値よりも難しい漢字をひらがなに置き換えることにより、送信テキストデータを作成する送信テキストデータ作成部を含み、

前記通信端末は、さらにホストコンピュータから送信された送信テキストデータを表示する表示部を備える、請求項1または2に記載のデータ通信装置。

【請求項6】 前記送信データ作成部は、

共有データとして、テキストデータを予め定められた基準言語で記憶するテキスト記憶部、

共有データとして、各国語のフォントデータを記憶するフォント記憶部、

個人情報に基づいて通信端末の使用者に対応した目的言語を決定する目的言語決定部、および前記テキスト記憶部に記憶されている基準言語のテキストデータを目的言語に翻訳して送信テキストデータを作成する翻訳部を含み、

前記第1の送信部は、フォント記憶部に記憶されている各国語のフォントデータのうち、目的言語決定部により決定された目的言語のフォントデータを送信するとともに、翻訳部が作成した目的言語の送信テキストデータを送信し、

前記通信端末は、さらに前記ホストコンピュータから受信したフォントデータを格納するフォント格納部、および前記フォント格納部に格納されているフォントデータを用いて前記ホストコンピュータから受信した送信テキストデータを表示する表示部を備える、請求項1または2に記載のデータ通信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、民族博覧会の会場での展示案内や、通信販売におけるカタログ案内等において用いられるデータ通信装置に関し、より特定のには、複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータと複数の使用者が共用可能な通信端末とを相互に通信可能に接続したデータ通信装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】図11は、従来のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。このようなデータ通信装置は、例えば民族博覧会の会場での展示案内において用いられている。図11において、複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータ2000と、複数の使用者が共用可能な通信端末1000とは、相互に通信可能に接続されている。通信端末1000は、操作入力部1001と、送信部1002と、受信部1003とを備える。ホストコンピュータ2000は、受信部2001と、共有データD0を有する送信データ選択部2002と、送信部2003とを備える。

【0003】通信端末1000の使用者は、この端末の表示器（図示せず）に表示されているメニュー（例えば、アジア、アフリカ、…、北アメリカ、ヨーロッパ）から所望の項目を選択し、操作入力部1001を操作して選択した項目、すなわち操作情報S（例えば、アジア）を入力する。操作入力部1001は、操作情報Sを送信部1002に出力する。送信部1002は、操作情報Sをホストコンピュータ2000に送信する。

【0004】ホストコンピュータ2000の受信部2001は、受信した操作情報Sを送信データ選択部2002に出力する。送信データ選択部2002は、アジア、アフリカ、…、北アメリカ、ヨーロッパの共有データD0の中から、操作情報Sに基づく共有データD0、すなわちアジアの共有データを選択する。送信部2003は、アジアの共有データD0を通信端末1000に送信する。通信端末1000の受信部1003は、アジアの共有データD0を受信し、表示器に表示する。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のデータ通信装置では、共有データを何等編集せずにそのまま出力していたので、どの使用者が通信端末を操作しても、同じメニュー、同じデータしか得られなかった。

【0006】ところで、例えば、民族博覧会の会場には、大人、子供、外国人等種々の人々が来場する。このような場合に、共有データとして大人用の漢字を含むテキストデータを用意していた場合には、子供や外国人は、このテキストデータを理解することができない。子供や外国人のために、共有データとして平仮名のテキストデータや、外国語のテキストデータを用意しておくことも考えられるが、共有データのデータ量が膨大になる

とともに各使用者が膨大なデータの中から自己に適応したデータを選択するのが困難になる。このような事情は、通信販売におけるカタログ案内等においても同様であった。このため、従来のデータ通信装置では、データの選択を意識することなく、各使用者に適応したデータを提供するのが困難であるという問題点があった。

【0007】それゆえに、本発明は、通信端末の各使用者がデータの選択を意識することなく、各使用者に適応したデータを容易に得ることができるデータ通信装置受信を提供することを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1に係る発明は、複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータと複数の使用者が共用可能な通信端末とを相互に通信可能に接続したデータ通信装置であって、通信端末は、各使用者の使用者識別情報を入力するための使用者識別情報入力部、および使用者識別情報入力部から出力された使用者識別情報をホストコンピュータに送信する第1の送信部を備え、ホストコンピュータは、通信端末の各使用者の使用者識別情報と各使用者の個人情報とを対応させて記録している個人情報記録部、通信端末から受信した使用者識別情報に対応する個人情報を個人情報記録部から検索する個人情報検索部、共有データを有し、個人情報検索部から出力された個人情報に基づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成する送信データ作成部、および送信データ作成部によって作成された送信データを通信端末に送信する第2の送信部を備え、通信端末は、さらにホストコンピュータから送信された送信データを受信する受信部を備える。

【0009】請求項2に係る発明は、複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータと複数の使用者が共用可能な通信端末とを相互に通信可能に接続したデータ通信装置であって、各使用者に与えられ、各使用者の個人情報を記録した個人情報記録媒体を含み、通信端末は、個人情報記録媒体から個人情報を読み取る個人情報読取部、および個人情報読取部が読み取った個人情報をホストコンピュータに送信する第1の送信部を備え、ホストコンピュータは、各使用者に共有の共有データを有し、個人情報検索部から出力された個人情報に基づいて共有データを編集することにより、使用者に適応した送信データを作成する送信データ作成部、および送信データ作成部によって作成された送信データを送信する第2の送信部を備え、通信端末は、さらにホストコンピュータから送信された送信データを受信する受信部を備える。

【0010】請求項3に係る発明は、請求項1または2の発明において、通信端末は、さらに使用者が入力した共有データの部分選択操作を表す操作情報を出力する操作入力部を備え、第1の送信部は、さらに操作入力部か

10

20

30

40

50

## 5

ら出力された操作情報をホストコンピュータに送信し、送信データ作成部は、さらに使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成し、ホストコンピュータは、さらに送信データ作成部によって作成された送信データを各使用者毎に区別して記録する送信データ記録部を備える。

【0011】請求項4に係る発明は、請求項1の発明において、通信端末は、さらに使用者が入力した共有データの部分選択操作を表す操作情報を出力する操作入力部を備え、第1の送信部は、さらに操作入力部から出力された操作情報をホストコンピュータに送信し、送信データ作成部は、さらに使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成し、個人情報記録部は、操作情報を過去の共有データに対する部分選択の履歴を表す個人情報として各使用者毎に記録することを特徴とする。

【0012】請求項5に係る発明は、請求項1または2の発明において、送信データ作成部は、共有データとして、漢字を含むテキストデータと、漢字の読みがなおおよび難易度とを記憶するホストコンピュータのテキスト記憶部、個人情報から漢字の難易度のしきい値を決定する難易度しきい値決定部、および難易度しきい値決定部により決定されたしきい値に基づいて、テキスト記憶部に記憶されているテキストデータのしきい値よりも難しい漢字をひらがなに置き換えることにより、送信テキストデータを作成する送信テキストデータ作成部を含み、通信端末は、さらにホストコンピュータから送信された送信テキストデータを表示する表示部を備える。

【0013】請求項6に係る発明は、請求項1または2の発明において、送信データ作成部は、共有データとして、テキストデータを予め定められた基準言語で記憶するテキスト記憶部、共有データとして、各国語のフォントデータを記憶するフォント記憶部、個人情報に基づいて通信端末の使用자에게対応した目的言語を決定する目的言語決定部、およびテキスト記憶部に記憶されている基準言語のテキストデータを目的言語に翻訳して送信テキストデータを作成する翻訳部を含み、第1の送信部は、フォント記憶部に記憶されている各国語のフォントデータのうち、目的言語決定部により決定された目的言語のフォントデータを送信するとともに、翻訳部が作成した目的言語の送信テキストデータを送信し、通信端末は、さらにホストコンピュータから受信したフォントデータを格納するフォント格納部、およびフォント格納部に格納されているフォントデータを用いてホストコンピュータから受信した送信テキストデータを表示する表示部を備える。

【0014】

【作用】請求項1に係る発明においては、通信端末から受信した使用者識別情報に対応する個人情報に基づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成し、作成された送信デ

## 6

ータを通信端末に送信するようにしている。この結果、共有データのデータ量が減少し、使用者はデータの選択が容易になる。したがって、使用者はデータの選択を意識することなく、使用者の自身に適応したデータを得ることができる。

【0015】請求項2に係る発明においては、通信端末から受信した個人情報に基づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成し、作成された送信データを通信端末に送信するようにしている。この結果、共有データのデータ量が減少し、使用者はデータの選択が容易になる。したがって、使用者はデータの選択を意識することなく、使用者の自身に適応したデータを得ることができる。

【0016】請求項3に係る発明においては、使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成し、送信データ作成部によって作成された送信データを各使用者毎に区別して記録するようにしている。この結果、再度通信端末を操作することなく使用者は自分が受信した送信情報にアクセスすることができる。

【0017】請求項4に係る発明においては、操作情報を過去の共有データに対する部分選択の履歴を表す個人情報として各使用者毎に記録し、使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成するようにしている。この結果、使用者は過去にアクセスした情報と、まだアクセスしていない情報を区別することが可能になる。したがって、未アクセスのデータへのアクセスが容易になる。

【0018】請求項5に係る発明においては、共有データとして、漢字を含むテキストデータと、漢字の読みがなおおよび難易度とを記憶し、個人情報から漢字の難易度のしきい値を決定し、難易度しきい値決定部により決定されたしきい値に基づいて、テキスト記憶部に記憶されているテキストデータのしきい値よりも難しい漢字をひらがなに置き換えることにより、送信テキストデータを作成するようにしている。この結果、使用者の漢字を知っているレベルにあわせて漢字を含む文章の表示を行なうことができる。したがって、使用者は、テキストデータを容易に理解することができる。

【0019】請求項6に係る発明においては、共有データとして、テキストデータを予め定められた基準言語で記憶し、共有データとして、各国語のフォントデータを記憶し、個人情報に基づいて通信端末の使用자에게対応した目的言語を決定し、テキスト記憶部に記憶されている基準言語のテキストデータを目的言語に翻訳して送信テキストデータを作成し、ホストコンピュータから受信したフォントデータを格納し、フォント格納部に格納されているフォントデータを用いてホストコンピュータから受信した送信テキストデータを表示するようにしている。この結果、使用者の使用言語に合わせて文章の表示を行なうことができる。したがって、使用者は、テキス

## 7

トデータを容易に理解することができる。

【0020】

【実施例】以下、図面に基づいて本発明の実施例を説明する。図1は、本発明の第1の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。このようなデータ通信装置は、例えば民族博覧会の会場での展示案内において用いられている。図1において、複数の使用者に共有可能な共有データを有するホストコンピュータ21と、複数の使用者が共用可能な通信端末11とは、相互に通信可能に接続されている。通信端末11は、使用者識別情報入力部111と、送信部112と、受信部113とを備える。ホストコンピュータ21は、受信部211と、個人情報記録部212と、個人情報検索部213と、共有データD0を有する送信データ作成部214と、送信部215とを備える。

【0021】通信端末11の各使用者には、ID番号のような使用者識別情報（例えば、「000001」、「000002」、…）が付与されている。各使用者は、通信端末11を使用する場合、使用者識別情報入力部111から使用者識別情報Uを入力する。なお、使用者識別情報入力部111は、テンキーなどのボタンでもよく、IDカードのような磁気カードのリーダでもよい。送信部112は、使用者識別情報入力部111に入力された使用者識別情報Uをホストコンピュータ21に送信する。

【0022】図2は、個人情報記録部212が管理する個人情報管理テーブルTの構成を示す図である。個人情報管理テーブルTは、各使用者の使用者識別情報UとしてのID番号と、各使用者の個人情報Pとしての年齢、国籍、来館回数、見たことのある項目等とを対応させて記録している。

【0023】ホストコンピュータ12の受信部211は、通信端末11から受信した使用者識別情報Uを個人情報検索部213に出力する。個人情報検索部106は、使用者識別情報U（例えば、「000001」）を受け取ると、個人情報記録部212の個人情報管理テーブルTを検索し、使用者識別情報Uに対応する個人情報Pを検索し、検索した個人情報Pを送信データ作成部214に出力する。

【0024】送信データ作成部214は、個人情報Pに基づいて共有データD0を編集することにより、個人情報Pの使用者に適應した送信データDを作成する。ここで、編集とは、共有データD0の並べ替え、翻訳等共有データD0に対して何らかの操作を加えることを意味している。送信部215は、送信データ作成部214から出力された送信データDを通信端末11に出力する。通信端末11の受信部113は、ホストコンピュータ21から送信された送信データDを受信する。したがって、各使用者はデータの選択を意識することなく、各使用者に適應したデータを得ることができる。

## 8

【0025】図3は、本発明の第2の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。なお、図1の実施例と対応する部分には、同一番号を付し、その説明を省略する。図3の実施例で注目すべきは、通信端末12の使用者それぞれに個人情報記憶媒体32が与えられ、この個人情報記憶媒体32に個人情報Pが記憶されていることである。このため、通信端末12には、図1の使用者識別情報入力部111に代えて個人情報記録媒体読取部121が設けられる。また、ホストコンピュータ22においては、図1のホストコンピュータ21に設けられていた個人情報記録部212、個人情報検索部213が削除されている。なお、個人情報記憶媒体32は、磁気カード、バーコード、マークシートなどで形成されている。

【0026】使用者は、通信端末12を使用する場合、自己の個人情報記憶媒体32を通信端末12の個人情報記録媒体読取部121に差し込む。個人情報記録媒体読取部121は、個人情報記憶媒体32から個人情報Pを読み取る。読み取られた個人情報Pは、送信部112、ホストコンピュータ22の受信部211をそれぞれ介して送信データ作成部214に送信される。以下の動作は、図1の実施例の場合と同様である。したがって、各使用者はデータの選択を意識することなく、各使用者に適應したデータを得ることができる。

【0027】図4は、本発明の第3の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。なお、図1および図3の実施例と対応する部分には、同一番号を付し、その説明を省略する。図4の実施例で注目すべきは、通信端末13に操作入力部131が設けられ、ホストコンピュータ23に送信データ記録部231が設けられることである。

【0028】使用者は、操作入力部131で操作することにより、メニューの選択などで、得たいデータを部分（例えば、北アメリカ）選択する。操作入力部131は、使用者が入力した共有データD0の部分選択操作を表す操作情報Sを出力する。送信部112は、使用者識別情報入力部111から出力された使用者識別情報Uと、操作入力部131から出力された使用者識別情報Uとをホストコンピュータ23に送信する。

【0029】送信データ作成部302は、個人情報検索部213から出力された個人情報Pと受信部211から出力された操作情報Sとに基づいて送信データD（例えば、北アメリカ）を作成し、送信データDを送信部215および送信データ記録部231に出力する。送信データ記録部231は、送信データDを各使用者毎に区別して記録する。動画データであれば、各使用者毎にビデオテープやデジタルビデオディスクなどに記録し、持ち帰ることも可能である。したがって、自宅で受信した送信データDを再生することができる。また、通信端末13を使用しなくとも、後に受信した送信データDを検索

することもできる。

【0030】図5は、本発明の第4の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。なお、図1、図3および図4の実施例と対応する部分には、同一番号を付し、その説明を省略する。図5の実施例で注目すべきは、個人情報記録部212が第1の実施例に記載した構成と同様であるが、個人情報には操作情報Sを過去にアクセスした部分選択（例えば、アジア、ヨーロッパ）の履歴を表す個人情報（図2の「見たことのある項目」の欄参照）として各使用者毎に記録することである。

【0031】通信端末13の操作入力部131は、使用者が入力した共有データD0の部分選択操作を表す操作情報Sを出力する。送信データ作成部214は、使用者の操作情報Sと個人情報Pとに基づいて送信データDを作成する。なお、送信データDには、図6に示す選択メニューMが含まれている。送信データ作成部214は、選択メニューMを作成する際、使用者が過去にアクセスしたアジア、ヨーロッパとまだアクセスしていないアフリカ、北アメリカ等とを区別して表示できるようにしている。したがって、使用者はまだ見ていないデータであるアフリカ、北アメリカ等を的確に得ることができる。なお、すでにアクセス済みのデータを選択メニューMに表示しないようにしてもよい。

【0032】図7は、本発明の第5の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。なお、図1、図3、図4および図5の実施例と対応する部分には、同一番号を付し、その説明を省略する。図7の実施例で注目すべきは、ホストコンピュータ25の送信データ作成部214が、テキスト記憶部251と、難易度しきい値決定部252と、送信テキストデータ作成部253とを含み、通信端末15が表示部151を備えることである。

【0033】テキスト記憶部251は、図8に示すように、共有データD0として、漢字を含むテキストデータと、漢字の読みがなおよび難易度（例えば、小学何年で習う漢字か）とを記憶している。難易度しきい値決定部252は、個人情報P（例えば、使用者が小学3年生であること）から漢字の難易度のしきい値を例えば小学3年に決定する。送信テキストデータ作成部253は、難易度しきい値決定部252により決定されたしきい値に基づいて、テキスト記憶部251に記憶されているテキストデータのしきい値よりも難しい漢字、すなわち小学3年以降に習う漢字をひらがなに置き換えることにより、送信テキストデータDを作成する。通信端末15の表示部151は、ホストコンピュータ25から送信された送信テキストデータを表示する。

【0034】したがって、各使用者に応じて、読める範囲の漢字のみを用いた文章を提供することができる。なお、通信端末とホストコンピュータが一体した機能をもつ、例えば、電子ブックのようなデータ通信装置において実施するようにしてもよい。

【0035】図9は、本発明の第6の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。なお、図1、図3、図4、図5および図7の実施例と対応する部分には、同一番号を付し、その説明を省略する。図9の実施例で注目すべきは、ホストコンピュータ26の送信データ作成部214が、テキスト記憶部261と、フォント記憶部262と、目的言語決定部263と、翻訳部264とを含み、通信端末16がフォント格納部161を備えることである。

【0036】テキスト記憶部261は、共有データD0として、テキストデータを予め定められた基準言語（例えば、日本語や、翻訳に適した中間言語）で記憶している。フォント記憶部262は、共有データD0として、各国語のフォントデータを記憶している。個人情報には、国籍などの使用言語を示す情報が含まれている（図2の「国籍」の欄参照）。目的言語決定部263は、個人情報Pに基づいて例えば米国人であることを知れば、通信端末16の使用者に対応した目的言語英語を決定する。翻訳部264は、テキスト記憶部261に記憶されている基準言語のテキストデータを目的言語である英語に翻訳することにより、英語の送信テキストデータを作成する。テキスト記憶部251は、フォント記憶部262に記憶されている各国語のフォントデータのうち、目的言語決定部263により決定された目的言語である英語のフォントデータを送信するとともに、翻訳部264が作成した目的言語の送信テキストデータを送信する。

【0037】通信端末16のフォント格納部161は、ホストコンピュータ26から受信したフォントデータを格納する。表示部151は、フォント格納部161に格納されているフォントデータを用いてホストコンピュータ26受信した送信テキストデータを表示する。

【0038】したがって、使用者に応じて、読める使用言語の文章を提供することができる。なお、第5の実施例と同様に、通信端末とホストコンピュータが一体した機能をもつ、例えば、電子ブックのようなデータ通信装置において実施するようにしてもよい。

【0039】なお、上述の実施例では、データ通信装置を民族博覧会の会場での展示案内において用いようにしたが、通信販売におけるカタログ案内等において実施するようにしてもよい。なお、カタログ案内の場合には、個人情報記録部212の個人情報管理テーブルTの構造を、図10に示すように個人情報Pとして、名前、性別、サイズ等を設けるようにしてもよい。

【0040】また、図4、図7、図9の実施例において、通信端末から使用者識別情報Uを入力するようにしたが、個人情報Pを入力するようにしてもよい。

【0041】

【発明の効果】請求項1に係る発明にあっては、通信端末から受信した使用者識別情報に対応する個人情報に基

づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成し、作成された送信データを通信端末に送信するようにしているので、共有データのデータ量が減少し、使用者はデータの選択が容易になり、使用者はデータの選択を意識することなく、使用者の自身に適応したデータを得ることができる。

【0042】請求項2に係る発明にあつては、通信端末から受信した個人情報に基づいて共有データを編集することにより、当該個人情報の使用者に適応した送信データを作成し、作成された送信データを通信端末に送信するようにしているので、共有データのデータ量が減少し、使用者はデータの選択が容易になり、使用者はデータの選択を意識することなく、使用者の自身に適応したデータを得ることができる。

【0043】請求項3に係る発明にあつては、使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成し、送信データ作成部によって作成された送信データを各使用者毎に区別して記録するようにしているので、再度通信端末を操作することなく使用者は自分が受信した送信情報にアクセスすることができる。

【0044】請求項4に係る発明にあつては、操作情報を過去の共有データに対する部分選択の履歴を表す個人情報として各使用者毎に記録し、使用者の操作情報と個人情報とに基づいて送信データを作成するようにしているので、使用者は過去にアクセスした情報と、まだアクセスしていない情報を区別することが可能になり、未アクセスのデータへのアクセスが容易になる。

【0045】請求項5に係る発明にあつては、共有データとして、漢字を含むテキストデータと、漢字の読みがなおよび難易度とを記憶し、個人情報から漢字の難易度のしきい値を決定し、難易度しきい値決定部により決定されたしきい値に基づいて、テキスト記憶部に記憶されているテキストデータのしきい値よりも難しい漢字をひらがなに置き換えることにより、送信テキストデータを作成するようにしているので、使用者の漢字を知っているレベルにあわせて漢字を含む文章の表示を行なうことができ、使用者は、テキストデータを容易に理解することができる。

【0046】請求項6に係る発明にあつては、共有データとして、テキストデータを予め定められた基準言語で記憶し、共有データとして、各国語のフォントデータを記憶し、個人情報に基づいて通信端末の使用者に対応した目的言語を決定し、テキスト記憶部に記憶されている基準言語のテキストデータを目的言語に翻訳して送信テキストデータを作成し、ホストコンピュータから受信したフォントデータを格納し、フォント格納部に格納されているフォントデータを用いてホストコンピュータから

受信した送信テキストデータを表示するようにしているので、使用者の使用言語に合わせて文章の表示を行なうことができ、使用者は、テキストデータを容易に理解することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【図2】図1の個人情報記録部212が管理する個人情報管理テーブルTの構成を示す図である。

10 【図3】本発明の第2の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【図4】本発明の第3の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【図5】本発明の第4の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【図6】選択メニューMの構成を示す図である。

【図7】本発明の第5の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

20 【図8】図7のテキスト記憶部251が記憶する漢字を含むテキストデータの構造を示す図である。

【図9】本発明の第6の実施例のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【図10】個人情報記録部212が管理する他の個人情報管理テーブルTの構成を示す図である。

【図11】従来のデータ通信装置の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

11, 12, 13, 15, 16…通信端末

21, 22, 23, 24, 25, 26…ホストコンピュータ

32…個人情報記憶媒体

111…使用者識別情報入力部

112, 215…送信部

113, 211…受信部

131…操作入力部

151…表示部

161…フォント格納部

212…個人情報記録部

213…個人情報検索部

40 214…送信データ作成部

231…送信データ記録部

251…テキスト記憶部

252…難易度しきい値決定部

253…送信テキストデータ作成部

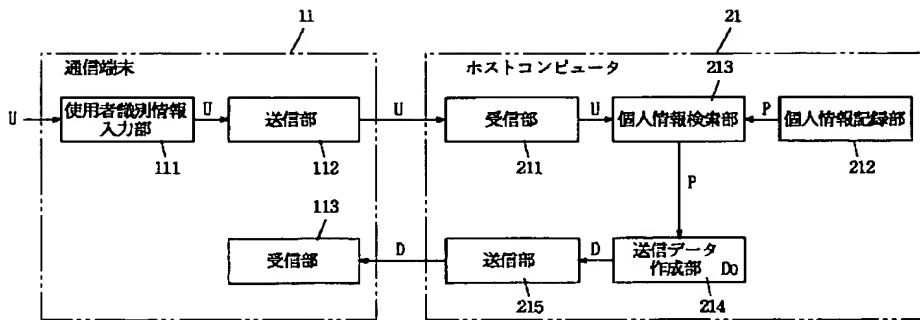
261…テキスト記憶部

262…フォント記憶部

263…目的言語決定部

264…翻訳部

【図 1】



【図 2】

T

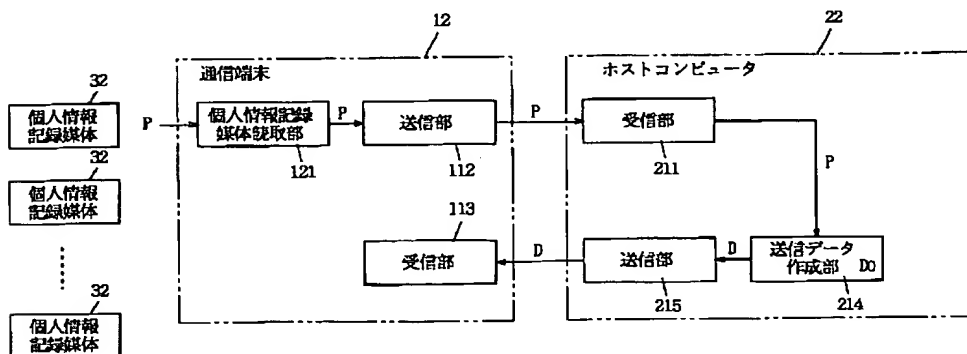
ID番号	年齢	国籍	来館回数	見たことのある項目
000001	41	日本	1	北アメリカ
000002	23	日本	1	ヨーロッパ
000011	9	日本	3	アジア・ヨーロッパ
000012	21	米国	1	オセアニア

【図 8】

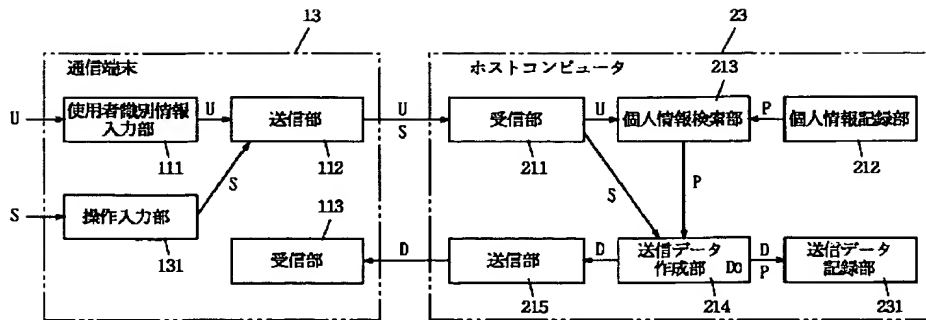
Do

この壺（つば・小3）の特徴（とくちょう・小2）は、  
縄（なわ・小4）の模様（もよう・小3）が…

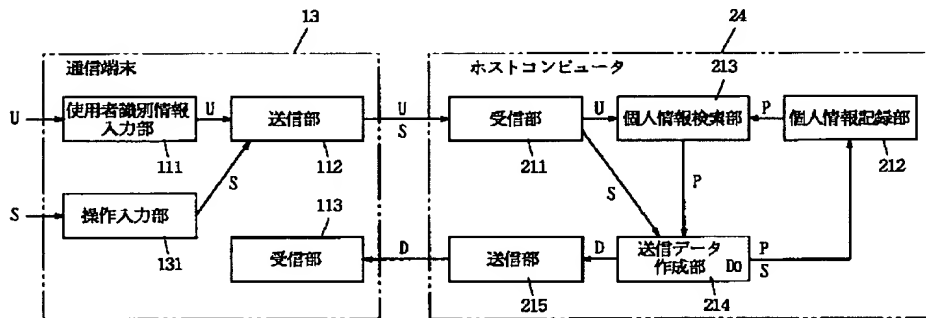
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

M

どの項目をみますか？

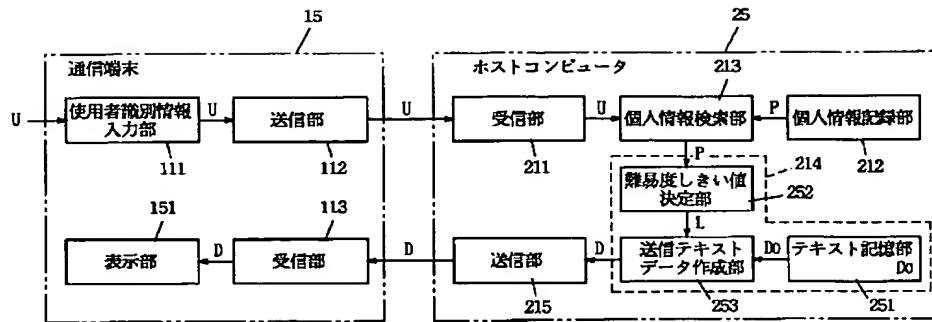
☒ アジア  
☐ アフリカ  
 ...  
☐ 北アメリカ  
☒ ヨーロッパ

【図 10】

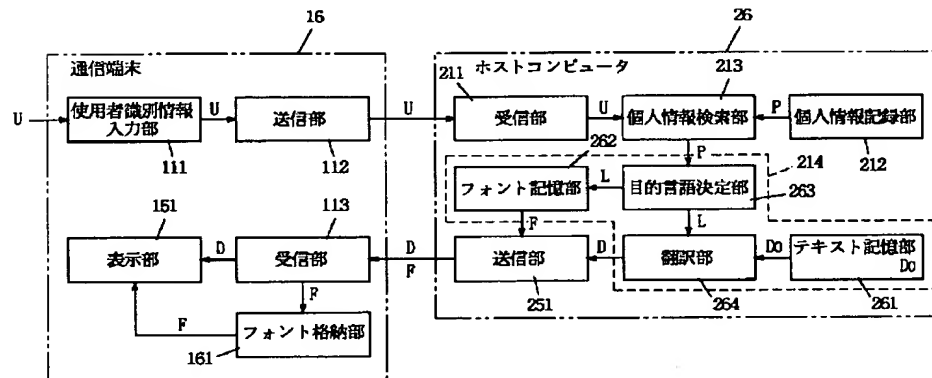
T

ID番号	名前	性別	年齢	サイズ	
000001	山田太郎	男	41	LL	
000002	川井花子	女	23	M	

【図 7】



【図 9】



【図 11】

